



日露渡り鳥会議のエクスカーション

日露国際条約会議がセンターで開催！



1月28～30日にかけて宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターにおいて日ロ二国間渡り鳥条約会議及びそれに合わせて日米ロの小型シギ・チドリ類保護協力ワークショップが開催されました。この会議で各国の専門家による研究、保全対策などの情報交換や、今後の協力のあり方について検討がなされました。

第14回 伊豆沼・内沼研究集会が開催されました

伊豆沼・内沼で植物や動物、底質の改善などに取り組んでいる研究者が一堂に会する第14回伊豆沼・内沼研究集会が2月15日に開催されました。約30人の参加があり8題の発表が行われました。前半は画像解析による水生植物分布の可視化、タイムラプス画像を用いた冬季環境情報の解析についての発表が行われました。限られた研究者による湿地の保全管理には限界があるため、このような技術開発は今後一層重要になると考えられます。その他オオクチバスの駆除後に再生した希少魚の生息地に関する報告、オオハクチョウによるハスの採食とそれに伴う水中の酸素濃度の改善、ハスの枯葉・枯茎が水質に与える影響について発表が行われました。

後半では抽水植物の植栽による群落復元に関する研究や溜池におけるオオクチバスの食性解析、GPS-TXを用いたマガモ・カルガモの行動追跡に関して発表が行われました。オオクチバスの研究では小型魚類を食べ尽くした後、オオクチバスは共食いとアメリカザリガニ採食によって個体群を維持する可能性が指摘されました。これらの外来種が我が国の生態系に与える影響の大きさには愕然とさせられます。カルガモのGPS追跡は国内初の事例で、その保全に役立つことと考えられます。

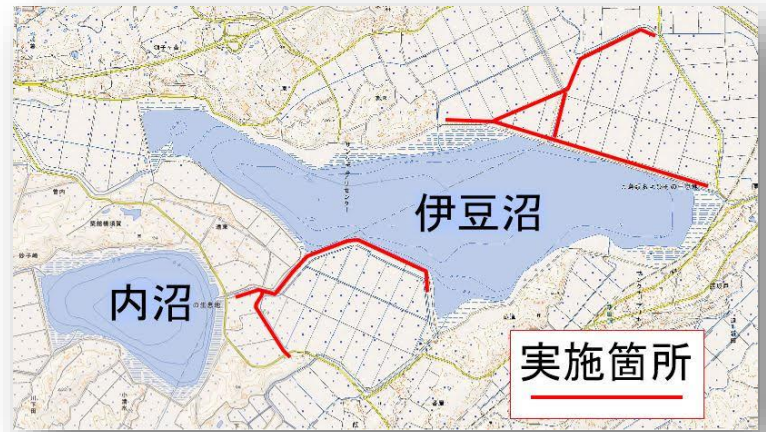


野火による一斉清掃にご協力ください



伊豆沼第2・第3工区堤防で、漁協、土地改良区及び財団による野火(堤防の枯草等焼却)を登米・栗原市と共催で実施致します。

火災と間違えないようご協力ください。



日時 3月7日(土) 8:00~12:00
荒天の場合は、3月14日(土)に順延
場所 伊豆沼第2・第3工区堤防敷き

第61回 伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン

第61回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンを開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。服装は、動きやすい身軽なもの、長靴、軍手、火ばさみなどをご持参ください。駐車場はスペースに限りがございますので、出来るだけ乗合でお越しください。

マスクの着用も忘れずに!

日時 3月20日(金) 小雨決行
雨天の場合は、3月22日(日)に順延
開会8:30(受付8:00)

集合場所 鳥館・昆虫館・淡水魚館



コクガンのGPS追跡



脚にカラーリング、背中にGPS送信機を装着したコクガン



南三陸ネイチャーセンター友の会との共同研究で、1月下旬に志津川湾内でコクガン4羽を捕獲し、GPS追跡を開始しました。志津川湾は、2018年10月に県内4番目のラムサール条約登録地となり、藻場やコクガンがシンボルとなっています。この調査によってコクガンの湾内での生態や渡り経路などを解明していきたいと考えています。

